

# くすのき



令和3年度  
千葉市立山王中学校  
学校だより6号  
令和3年10月15日(金)

## チャレンジすることの大切さ

細川 義文

10月13日(水)から令和3年度の後期が始まりました。同時に生徒会組織の改編も行われ、新生徒会長のもと、新たな山王中学校生徒会の活動がスタートを切りました。後期の始まりにあたり、始業式で生徒の皆さんに「中学生として、様々な経験を積んでほしい。」ということをお話しました。特に3年生は来年3月には義務教育が終了し、それぞれの進路を歩み始めるわけですから、人としての幅を広げるためにも、できるだけ多くのことを経験してほしいという思いを伝えました。

様々な経験の中には、自分自身にとって大きなチャレンジになるものも出てくると思います。その時には臆せず堂々とチャレンジしてほしいと思います。

チャレンジすることについて、東京オリンピック・パラリンピック、女子スケートボードに出場した岡本碧優選手のことは記憶に新しいところだと思います。最終滑走までに4位につけていた岡本選手はメダル獲得をかけ大技にチャレンジしました。しかし、転倒して失敗し、悔し涙を流しながら待機場所へ戻りました。すると、ライバルとして戦ってきたほかの選手たちが駆け寄り、岡本選手を肩に乗せ、褒め称えたのです。自分がチャレンジしたことがあるからこそ、その大変さがわかるのでしょうか。そして、たとえ失敗したとしても、チャレンジすることの大変さや貴さを理解しているから、賞賛の拍手を送り、褒め称えることができたのだと思います。



岡本選手の場合、共にチャレンジした選手がわかってくれました。しかし、いつも誰かがわかってくれるとは限りません。ですが、万が一、誰も認めてくれなかったとしても、大変なチャレンジをしたことは何よりも自分自身が十分にわかっているでしょう。その時は自分で自分を褒めればよいのではないのでしょうか。

チャレンジすることは、とても大変なことです。大変なことだからこそ価値があるのだと思います。山王中学校の皆さんには、臆せず、どんどんチャレンジしてほしいと思います。